

詳細に算出しました。

詳細に試算した結果 合併で大きな行政効果

事務事業調整の方針は、合併後もサービス水準が低下することのないように、基本的に両市町のサービス水準の高い方（住民にとってメリットがある方）に合わせることにしましたが、結果的に、年額で約5・9億円の増額で済むと試算されました。

この新しく発生する行政経費は、合併することで生じる人件費の削減額（年間15億円）を大きく下回るものでした。

したがって、試算では、事務事

業の調整で発生する行政経費の増分約5・9億円をまかなった上に、差額分の9億円程度を新たな行政サービスに活用できることが分かりました。

※職員削減などの行政改革の取り組みが進んだ結果、合併したことで得られる財源は、平成23年度以降、毎年12・5億円になっています。

合併効果で実現した 新たな行政サービス

詳細に事務事業を調整した結果、両市町が合併しても、財政収支上問題ない形で、それぞれの行政サービス水準を向上させることができました。

日曜に窓口を利用できるのは便利です

日曜窓口利用者 梅澤 真智子さん



平日の昼間は働いているので、住民票や印鑑登録証明書が必要な時は、会社を休んで市役所に行かなければならないと思っていました。

昨年ですが、証明書が必要になったので、知人に聞いてみたら、市民課の窓口が日曜日も開いていると教えても

らったので、早速行ってみました。

長く待たされることもなく用事を済ますことができました。

平日働いている人にとっては、日曜日に窓口が開いているのは助かりますね。これからも利用したいです。



関宿町役場の庁舎は、関宿地域の新たな拠点として複合施設に改修
1階： 合併前の町の窓口サービスを維持した関宿支所
2・3階：せきやど図書館を新設、3階には二川つとむの広場設置
4階： 舞台イベントが楽しめる小ホールを備えた関宿コミュニティ会館、関宿こども相談室を設置
5階： 関根名人記念館を新設、関宿商工会を設置

旧野田市サービスの向上点は、①

窓口業務の充実（3か所ある出張所の窓口業務に税や福祉関係の34業務を新たに追加し、5か所の郵便局でも住民票など交付手続きを実施）、②学童保育所の閉所時間延長（30分延長）、③日常生活用具等の給付対象者の拡大（65歳以上の高齢者のみの世帯を対象）、④福祉電話設置対象者の拡大（65歳以上の高齢者のみの世帯を対象）、⑤知的障がい者福祉手当の支給（在宅重度知的障がい

者福祉手当を新設）、などです。

関宿町サービスの向上点としては、ほとんどの場合で旧野田市の水準の方がより高かったことから、全体の行政サービスが向上しました。

具体的な例をあげると、①福祉タクシー（高齢者・障がい者）の利用、②給食・配食サービス（高齢者）の利用、③災害見舞金の支給、④母子等医療費助成受給者の一部負担廃止、⑤水道料金の引き下げ、⑥水道使用料の引き下げ、などです。